

# 見つけよう！ かかりつけ薬剤師

問い合わせ 保健医療課 ☎2141

市医師会、市薬剤師会、市歯科医師会の先生方からの、健康よろず話を、3回に分けて紹介します。  
2回目は「かかりつけ薬剤師」について、市薬剤師会の中根恵梨奈先生に伺いました。



平成28年4月より「かかりつけ薬剤師」制度が新たにスタートしました。これから皆さんの疑問に答える形でこの制度の内容やメリットなどを紹介します。



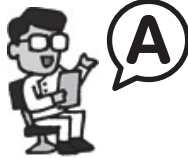
「かかりつけ薬剤師制度」とは？



これまでも薬剤師は、責任をもって患者さんの薬を用意し、その説明や飲み合わせの確認などを行ってきました。今まで以上に薬や健康のことを気軽に安心して相談していただけるようにする仕組みが「かかりつけ薬剤師制度」です。



「かかりつけ薬剤師をもつメリットは？」



皆さんの中には、健康病気に対して相談し診察を受ける身近な医師である「かかりつけ医」を決めている方も多いかと思います。同じように、「かかりつけ薬剤師」をもつことで、信頼できる薬剤師から薬の説明を受けたり、

他の薬との飲み合わせや副作用などの相談をしたり、健康全般のアドバイスなどを受けたりできるようになり、より安心して、薬を使用することができま。



「かかりつけ薬剤師をもつためには？」



薬局で「かかりつけ薬剤師」の指名が必要。同意書に署名をしてください。



「かかりつけ薬剤師ってどういう人になれるの？」



薬局で一定以上の勤務年数や勤務時間があること、研修認定を取得していることなどが定める条件を満たした薬剤師だけが「かかりつけ薬剤師」になれます。しっかりとした経験と知識をもった薬剤師が認定されているので、患者さん一人一人に合った薬や健康に対する情報などを提供することが出来ます。



複数の病院にかかっているけど、すべて「かかりつけ薬剤師」のいる薬局に行かなきゃいけないの？



薬の処方せんがあれば、どこの薬局でも薬をもらうことができます。しかし、患者さんが飲まれている薬や健康食品、サプリメント、生活環境など、健康に関する情報を全般的に把握することで「かかりつけ薬剤師」の役割が最大限に発揮できます。より適切な説明や情報受けるためにも、薬は「かかりつけ薬剤師」からもらうことをおすすめします。他の薬局で薬をもらった場合には、その情報をお薬手帳を通して、「かかりつけ薬剤師」に伝えてください。

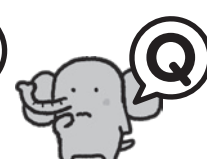


「かかりつけ薬剤師指導料」は、いくらかかるの？



「かかりつけ薬剤師指導料」は負担割合によって変わりますが、処方せんを受付けた際に「かかりつけ薬剤師」が必要な服薬指導を行った場合には、実質20円～100円位の追加の費用が発生します。

「かかりつけ薬剤師」への同意書を書いていない場合や、処方せん以外の相談は何回されてもお金はかかりません。ただし、「かかりつけ薬剤師」を決めていない場合などで、応対時以外で相談などを行った場合は「服薬情報等提供料」が生じる場合があります。



いつでも薬の相談に乗ってもらえるの？



かかりつけ薬剤師は夜間・休日などご利用の薬局が閉まっている時間帯でも薬の使い方や副作用などについて、相談をお受けします。



どんな相談をしたらよいか分からないのだけど…



患者さんが飲まれている薬や健康食品など、一元的に把握し、総合的な視点でアドバイスをできます。

処方せんがなくても、薬、健康食品やサプリメント、体調や健康のことなど気になることがあれば、何でもご相談ください。薬剤師の友達が一人増えたという感覚で、気軽に薬局へお立ち寄りください。



患者さんからの声を教えて



患者さんからは「どうしてこの薬を飲んでるのが理解できないのか」「今まで相談したいけど申し訳ないと思っできなかった。お金をとってくれることで気兼ねなく相談できるようになって小さな不安が解消された」「飲みにくい薬を飲みやすいものに変更してもらえた」など、喜びの声をたくさんいただいています。

## 最

後になります。超高齢社会を迎えた日本にとって「かかりつけ薬剤師」制度は、患者さんや地域の方々に密着した医療とヘルスケアを進めていく上では欠かせない制度といえます。少し費用はかかりますが、自分の薬や体調のことをよく理解して、継続して相談に乗ってくれる薬剤師がいると安心できるのではないのでしょうか。

「お医者さんにかかるまでの症状でもないんだけどな」といったときに、まず相談してみる相手として「かかりつけ薬剤師」の顔を思い浮かべていただけると嬉しいですね。

ぜひ、信頼できる薬剤師、いつも顔を思い浮かべる薬剤師を「かかりつけ薬剤師」として認定し、皆さんの健康推進にご活用いただければと思います。

